

刊夕 日六廿月八

常磐宮日新聞

定額一円金紙一冊 五拾銭 郵費五拾銭
 廣告料五拾銭 十二字 行金五拾銭
 日曜祭日の祭日休刊
 発行所 常磐宮日新聞社
 印刷所 常磐宮日新聞社

盆の思い出

凡盆生

昨夜からの雨は未だに止みもせず降りつづけてゐる、暑苦しい蟬もなかなぬ、俺の友達であつた郭公はもうどこかに行つてしまつたのか一寸も鳴いてくれない。今日は舊の盆だ。盆が来たのだ、娑婆氣を出して盆唄でもうたふてみやう。小さい聲で口の中であふふ、死んだ親父が訪れて来はしないだろうか、親父はまさか俺がこんな處に呻吟してゐるとは思はなかつたであらう。

ぼんが来たぞい
 踊れや 踊れ
 ナスのお馬や
 キユウの船で
 うちの佛棚に来てござる

御佛さまに
 供養するのは
 何んじやいな
 花に團子に
 念佛おどり
 ハアイ
 念佛するのは
 佛のためだよ
 ナア ハア ハア ヨー

ぼんが来たぞい
 菩提寺の池じや
 蓮の葉ツバに
 蛙子が
 お手ををついて
 お経をよめば
 精霊とんぼは
 舞ひおどる

○ 0000000000
 ○ 明日の献立
 ○ 0000000000
 【朝】味噌汁・葱
 小付生トマト
 【晝】煎り切の花 せん生
 黍
 小井 福神漬
 【晚】むきみぢやが芋人
 参(むきみぢやが芋人)
 焼物・味噌干 鯛

朝の暗から
 利鎌もつて
 サクリ〜と
 草かれば
 葉末につらなる真珠玉
 コロリ〜と
 手に落ちる
 向ッ側の姉ちゃん
 ミン〜 蟬だよ

姉ちゃん うたい出しや
 あとのゴタ蟬や
 聲におそれて聲はない

○ 小田の蛙の
 言ふこと聞けば
 村の姉ちゃん
 色黒い
 黒いところに甘味がある

○ 山の子の
 山の子の聞けば
 村の兄ちゃん
 腕や太い
 太いところに意氣がある

お待兼の……
 平名物(今年の!)
七夕祭の工八ガキ
 ◎色刷 八枚組 一組 二十銭
 一部数に限りありますから御早く御求めを願ひます。
 平 驛 前
いづみや玩具店

門 専
 産 婦 人 科 科
 花 柳 病 科
 ◎入院隨意
井坂 醫院
 平町田町 電話五五九番

喜多流 諸曲と仕舞の
 お稽古をお奨め致します
 平町田町六九
喜多流 白土會
 仕舞 諸曲
 入會隨時 電話一二七番



玉屋洋品店
 平町田町通電話六五六番

呼吸患救済の王……
 陸海軍御用
 帝國大學醫學部御用
 官公立醫學專門學校御用
吸入用 酸素
體溫計(メートル)
 御用命次第迅速に御届け致します
 平町古銀治町一〇縣社ノ下
阿康藥局
 處方箋調劑所
 電話 四四四番
 振替口座東京三〇五番

御位牌と品よい
佛壇佛具 安い
 平・新川町
橋本屋
 電一六三

◆お新盆提灯に御注意!!!
 近年各地に於て再製提灯が市場へ出る為めお贈りの方も頂いた方も誠に御迷惑さ又失禮にもなりますので製造者間で相談の上今年の品物へは必ず昭和十一年製青色マークを入れてあります。御買求めの際は必ず忘れなく昭和十一年製マーク入と御指命下さい。
 昭和十一年八月
提灯同業組合

品自慢と
 正直な値段
 自轉車・リヤカー
フタバ商會
 新川町郵便局前

平窪併合益々好轉

縣廳も熱意を示す

青沼町長病軀を押して

昨夜の座談會更に進展

(昨報) 平町市制施行の重要なポイントとなる平町と平窪村の第二回合併懇談會は二十五日午後七時から平町會議事堂に於て縣から出石總務部長、東郷地方課長、會田廳臨席の下に開催、平町からは病体を押し、青沼町長

出席の 外役場側酒井助役、松本書記、市制施行調査會井上、野崎、萩原、關内、坂本(隆)の五部長、平窪側草野村長、小泉助役その他村會議員、各團體首腦者九名出席、廿四日の平窪村に於ける第一回座談會に引續いて産業、經濟、教育土木、衛生、消防、社會その他各部門に亘る細部の質疑應答を交換

合併の 條件合併後の行政、並に諸施設への兩町村側から隔意なき意見を開陳、更に平窪側からの合併と同時に起る兩町村間に介在する好箇村大字川中子部落の併合問題に答へて出石總務部長から縣當局としては飽くまでも平町の市制施行に協力する點を強調、平町の

縣下に 誇る經濟的

秀なることを指摘して地方の市制施行に依る一切の文藝的經濟的有利なるを方説した結果、最後に平窪側としては更に村内大字八部落に於て夫々懇談會を開催、平町からも出席を求めて村内一般民に「何故平町では市制を敷くか」市制施行後の有利な諸點」その他に亘る

根本的 な微細な事項

にまで了解を求めて現在平窪一部村民が抱く一切の不安と危懼を一掃することに

大島の健兒行

少年團教育と實習所

渡邊啓二

四つの誓をして道場入りをした、七十二名の實習生は夫々各班に分れて野營の生活をする事となり、一班七名乃至八名づつ、の班員はこれから協同の自治体を組織する譯だ。心理學上よりの見解に依れば、この位

の人数が最もコントロールし易く作業上、訓練上圓滿に行なはれる人数である。川崎團長、水竹理事は梅鉢班、上川理事長は六文鏡班

第一籠球選手 既報平第一校の高等科兒童籠球部は近く開催される郡下大會の榮冠を目ざし連日鈴木三森の兩指導コーチの下に猛練習を續けてゐるが今二十六日出場選手を左の如く決定發表し、
新妻唯雄 門島公一 吉田芳雄 八代弘淑 鈴木義男 伊藤俊夫 根本健三 正木義朝 鈴木三郎 遠藤正 國府田岩雄 篠原孝吉 田島秀則

品質が劣り

人氣昂らず

四倉秋蘭初取引

四倉蘭市場の初秋蘭取引第一日は二十五日執行されたが小川、大野、大久村方面瓜田理事は一引兩班、小生は龍膽班に分れ、平少年團の實習生は散り／＼になり或る淋しさを感ぜられたが梅鉢班のみは一人意を強うした様に思はれた。現在平少年團にては鳥獸の名をとつた班名を採用して、健兒が互に自分の班呼聲を以て自己班員の集合合圖として居るためか、又慣れたといふ點もあらふが、この新しい紋所の班名は板につかない襟な気がしてならなかつた。而し聯盟の規定では少年部にこの紋所班名を年少部には鳥獸班名を用ひることに改められ、この班制

清田検事が

盛岡に榮轉

平區才判所檢察官清田一郎氏は昨二十六日附盛岡地方才判所檢察事を命ぜられ近く赴任するが同氏は去る八年七月から來任し在平滿三年新山校長脅迫事件、其他腕の凄い處を見せ名檢察事として令名高く轉任を惜しまれてゐる未だ出發期は決定しない

藤本内勤出縣

藤本内勤巡查は来る廿八、九兩日縣會議事堂で行はれる縣下警察衛生主任會に出席する

平町人事

回出生

尙初取引の相場は高値四圓六十錢、安値四圓、買馴四圓三十一錢、掛目三四である

敷郡甲崎村大字阿波崎一五六七和田政明氏長男包明さん
回婚 姻
△内郷村大字小島字新町二四志賀正美氏(二八)八幡小路七八小田歌子さん(二五)
△長橋町六三佐藤桑吉氏(三三)山形縣東村山郡山邊町字彈正淵一四二石島よしさん(二八)

△鎌田町四三當時東京市世田ヶ谷區下代田町二三四
入江長治氏二女治子さん
△紺屋町五七當時茨城縣稻

西岸院儀 新盆に相當り候へ共時節柄提灯其他供物一切御辭退申上度甚た乍勝手不惡御諒承願上候
昭和十一年舊七月
平町南町七三
西丸政雄
西丸辰治

青光院儀 新盆に相當り候得共時節柄提灯其他供物一切御辭退申上度甚た乍勝手不惡御諒承願上候
昭和十一年舊七月
平町舊城跡
青沼鋒太郎

芳原院儀 新盆に相當り候得共時節柄提灯其他供物一切御辭退申上度甚た乍勝手不惡御諒承願上候
昭和十一年舊七月
平町土橋
原精一

峻徳院儀新盆に相當り候得共時節柄提灯其他供物等一切御辭退申上度甚た乍勝手不惡御諒承願上候

坂田藤助

亡父應和院儀 新盆に相當り候得共時節柄提灯其他供物一切御辭退申上度甚た乍勝手不惡御諒承願上候
昭和十一年舊七月
平町古鍛冶町一〇
阿部康雄

闇の女の跳梁に

平署嚴重な達し

附近の住民も大迷惑

街頭のヒツパリ嚴禁

平署では舊盆を控へて外來客が多くなる昨今平町南町地内の魔窟街、闇の女の跳梁甚だしく同所通行人は勿論附近住民まで迷惑を蒙つて居ると非難の聲たかまり殊に七夕祭で雑沓中の去る二十二日夜同祭見物に來平した青年の暴行事件等が惹起したため二十四日午後六時同署會議室に平町の飲食店三十三名を集めて訓示、取締の徹底を期すことになつた、尚内郷村の飲食店業者には本廿六日訓示を行つたが管内一帯に同様訓示を行ひ所謂街頭の「ヒツパリ」

無理強ひ

酌婦二名

科料に處さる

(既報)二十二日夜七夕祭見物に來町した錦村大字大倉の青年を散々に毆打の暴行事件を起こした平町南町料理店第一新橋こと佐々木熊吉方酌婦後形シツ(三)水澤サツ(九)の兩名は無理に引ッ張り上げた際に依り科料十圓宛に處された

一回の登樓で

意氣 身請と騙して酌婦を絞る

前科五犯の強か者

既報に咲く無智の女を騙し時計、衣類等を詐取した詐欺、窃盜前科五犯の強か者湯本町宇日渡無職赤坂幸一(七)は其後半検事局で清田檢事取調の結果罪狀明白となり今二十六日詐欺罪として起訴明二十七日午前十時から平區で香西判事係りの下に公判を開廷される事になつたが同人は去る十

雑貨屋へ盜賊

五丁目雜貨屋皆川喜一方へ廿六日午前四時頃賊忍び入り座敷にあつたクローム婦人時計一個(價格十圓)並現金四十錢を盗んで逃走した

枕探しの番頭崩れ

同僚の通帳を盗む

拂戻しが發覺平署に檢舉

湯本町宇八仙入山炭礦合宿日にも同僚の小山富作の郵便貯金通帳を窃取同く三圓を拂戻した外前後數回に亘つて同僚の現金、衣類を盗み出したこと自白したが同人は昨年一月頃郷里に於て旅館の番頭して居るうち客の枕探しをして起訴猶豫中のこと判明

貧乏生活は嫌だと

人妻が女給に走る

宮城縣亶理郡坂本村安部元實妻ちよ子(三)は豫て女給稼業の表面的華やかさにあこがれてゐたが去月二十一日夜「貧乏生活が嫌になつた」との置手紙を残して夫の不在中六才の子供と中氣

明日のラジオ 廿七日

報豫氣 今晚は北の風曇 明日は北東の風曇

報番組預告 明日の部

報番組預告 明日の部

「神崎東下り」竹本伊達太夫他 後八、三五 祭禮囃子作々 樂 秋田縣角館下川原有志 後八、四五 小唄 市川三升他 後九、〇〇 連續講談「柳澤具進録」神田伯龍 後九、三〇 時報 ニュー 明日の話題 氣象通

報番組預告 明日の部 前六、三〇 獨逸語講座 登張信一郎 前七、〇一 朝の修養「中江藤樹先生と其の遺訓」 互理章三郎 前七、四〇 中等學校復習の時聞「國史」大島延次郎 前八、四〇 川柳講座「作向上のコッ」小林不浪人 前一〇、三〇 母の時間 「子供にお話する時」は 前田晃 後〇、〇五 合唱付琵琶 「雪の陣營」光田旭扇(合

報番組預告 明日の部 唱)四絃社合唱の會 後〇、三〇 國民歌謠 佐藤千夜子他(桃谷中繼) 後六、〇〇 夏休み玉手箱 後六、二五 趣味講座史蹟巡り一千代の松原と相の島「永島芳郎 後七、三〇 講演「長崎に於ける幕末頃の學生生活」林郁彦 後八、〇〇 ビアノ獨奏 モーツァルトの「奏鳥曲」イ長調「土川正浩 後八、二〇 うた澤 哥澤 泰光太夫 歌澤寅松 後八、四五 浪花節「陸奥美談黄金の華」東武藏

更生祈願 村民大會

夏井村に開催


夏井村經濟更生祈願宣誓並に村民大會は廿四日午後一時から縣經濟更生課成島技師の下に村民二百餘名參集して舉行、左記の如く實行目標を決議したが決議項目中、の生活改善には婚禮の式典を質朴簡素にして村内神社の社前で行ひ披露式は二時間以内を終ることとし嫁入の祝品は簞笥一棹、鏡臺、針箱、各一個、夜具一組と決めまた葬儀に際しては一切の酒を廢して香奠は二十錢以内、社交儀禮の時間勵行、村内各部落の氏神祭禮日を一定して總べて舊九月十五日に定める等々住時の慣習を破つて更生への意氣燃えも如きものあり今後實行の上に頗る注目され

裁判 一 東

裁 判 一 東

△江名町宇南町四二蒲鉾製造販賣業中田平次(〇)同町六四同星廣太郎(五)同町宇北町五〇同佐藤己之藏(四)の三名はいづれも防衛刺刺酸を混入の蒲鉾を製造した事發覺飲食物防衛刺刺酸白劑取締規則違反として各罰金二十圓 △小名濱字下明神町一馬上庄八方自動車運轉助手上壁四郎(三)及び江名町一七七佐藤文治郎店同秋葉利治(五)はいづれも無免許でトラックを運轉自動車取締令違反として各科料五圓に今二十六日平區裁判所から夫々略式命令を以て處分され

計時



高橋時計店

平町二丁目 小店員募集細面談

給面談 尋卒 以上 職を求め方 △寫真見習 仕着小遣 △店員 十八才 高卒 △日立機械工 十八才 高卒 △日立職工 十八才 高卒 △機械見習工 二十才 高卒



続瓦解の謎

悟道軒圓玉(作) 尾至陽(書)

二〇七 榎本引受く
高木伊兵衛は榎本君に託す人物の正体を明せといはれて

伊「彰義隊の土井伊織と申す者は實は女でございますよ」

榎本君はこの時葉巻を火にうつし煙を吐きながら伊兵衛をアツと見たが

榎「土井と申す者は女だと」

伊「左様でございます、この人の親父は幕府のお臺所役人でございまして徳川様に永く御恩を受けたにつきましてその御恩を報ずる爲め男姿となつて上野に入り黒門口では酒井幸助様と共に官軍をなやましたさうでございます、それにこの方は八丁堀の桃井先生について剣術を學びまして技も出てゐると聞きました、先づ今の世の巴御前か又板額のやうな女丈夫でございます」



榎「えらい奴だな、しかし伊兵衛、女としてはこの艦へ乗せることはならぬ、吾々は軍人だその軍人の中に女を加えることはなるまい第一風紀をみだすでな」

伊「御尤さま、男として」

それは實に見事でございます

榎「貴様はそのお花にどういふ縁故があるか」

伊「別に縁故はございませぬが上野を落ちて私共に来たにいつい傷の手あてを加へかくまつておきました、官軍の搜索さびしくこの上にかくまつておくことはできません、それでこちらへ伴れて参りました、勿論當人もあなたの下となつて一働きして死花をさかせると思して居ります」

榎「世には變つた奴もあるものだな、よし、土井伊織の妻であつたか」

伊「イエ浅草の奥山で水茶屋を出して居りまして櫻屋のお花と申し一枚繪にも出た程の美人でございます」

榎「ウーム、その名は聞いて居つた、そのお花と申すものは全身に櫻の刺青があるとのことだが」

伊「へございませぬ、雪のやうな白い肌に朱入りの櫻

長室に案内した、榎本君が見るとお花は黄平漆紋の帷子に嘉平治平の義経袴をはき髪は茶先に取り上げ蠟色鞘の小刀を前半に帯し右の手に刀を引つぎそれへ立つてゐる、その姿は錦繪のやうです

榎「貴公の経歴は伊兵衛から聞き及んだ、先づこの船に居るがよい、しかし次第によると官軍を相手に戦うこともあらう、その時には血を浴ろ、それまでは成るべくうまく化けて居れ女の正体をあらはしてはこの船に置くことはならぬ、さぶる巧妙に化けて居れ」といつたがお花の伊織はこれを聞いて

伊「死ぬまでも尻尾を出す

やうなことは致しません、何卒殿様可愛がつてくださいますし」

といひながら兩の頬に笑をたへたがその愛嬌のあることえくぼから愛嬌がとけて流れるやう

榎「これ、そんな言葉をつかうと正体が露はれるぞ」

とたしなめられてお花はきつと姿勢を正し

花「主家のために死するは武士の本望、示衆御手に屬し犬馬の勞をつくすでございませう」

榎「大分堅く出たな、これ伊兵衛この化物は俺が引き上げたぞ」

伊「それを聞いて私も安心いたしました、お花さん

佛壇位牌佛具一式 是非！近江屋

電話七一一番

醸造石數四千石

昭和二年以來連續優等入賞



御披露中特價一、四〇

平町田町

永山酒店

電話二〇七番

小口金融開始御案内

最近小口金融ノ御申込ガ増加シテ参リマシタノデ此度其業務ヲ開始シ特別ニ便宜ヲ御計ヒ致シマス

精々御利用願ヒマス 取扱ノ大要ハ左ノ通りデス

- 一、金額 五十圓以上五百圓迄
 - 一、期限 一ケ年以内
 - 一、償還方法 月賦拂、或ハ一時拂
 - 一、申込資格 商工業者、俸給生活者
 - 一、區域 平町及附近
 - 一、條件 保證人二名、擔保付ハ條件簡易
- 其他詳細ハ何卒御問合セ下サイ
- 昭和十一年八月
- 株式會社 七十七銀行平支店
- 電話 二三一 四一四番